

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートていーだ松見教室1st		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動遊び・SST・指先トレーニング・製作活動・ビジョントレーニングなど曜日や週で偏りが無い多様な活動内容の提供をしています。	・興味を引いて活動に参加しやすい環境や導入を心掛けています。 ・週ごとの担当制で活動を進めているため、いろいろな考え方ややり方に対応しています。 ・専門職員による個々に必要な訓練内容を計画実行しています。	・内容が固定化、偏らないように情報収集などを行い適切に活動を取り組んでいきます。
2	不穏時や集団の中に入れない利用者への必要時の個別対応をしています。	・利用時の個々の状況を見て、個別対応できるように申し送り時などに事前に想定して計画しています。 ・必要に応じて相談室などの個室を利用し、気持ちの安定を図れるように配慮しています。	・学校からの申し送り事項などを的確に素早く職員間で情報共有していきます。 ・登所時の様子などを細かく観察していきます。
3	年2回の保護者交流会(ていーだカフェ)を開催して、保護者同士の交流や悩み相談などを行なっています。	1回は親子行事として、親子で取り組める体を動かすゲームをおこなったり、親子製作などを通して親子の関わり方を伝えています。また、座談会ではそれぞれの悩みや相談事を話、共感、同調したり、アイデアをもらうようにしています。	・座談会で出た情報や支援の方法などを、参加できなかった保護者へも共有していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用家庭により情報共有ができないことがありました。	・情報共有しようとしても、拒否的言動を取られてしまう為、伝え方が難しいことがあります。 ・ネグレクトの家庭への声掛けの方法の難しさに苦戦しています。	・アプリ内メッセージだけではなく、電話をしたり、学校や他事業所、相談などの各関係機関を巻き込んで根気強く伝えていきます。 ・送迎時など対面できる際、理解を得られるように何度も説明していきます。
2	・個々の特性に合わせての対応方法に差がある	・職員間で支援時間前に話をしているが、個々の考え方に差があります。 ・事業所内で情報共有はしていますが、経験や考え方の違いなどで全員共通の支援を提供できていないことがありました。	・職員間の考え方の差を埋められるよう、申し送り時の情報の共有、対応方法の統一化を図っていきます。 ・勉強会や情報共有会をこまめに開催し、全ての職員で共通の支援を提供できるようにしていきます。
3			